

浜通りで発生した大豆の「黒斑粒」

福島県農業試験場 相馬支場

平成14年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

普通畑作物－大豆－病虫害防除

分類コード 02－05－23000000

2 担当者

島宗知行・大谷裕行

3 要旨

平成13年に原町市で報告された、大豆子実表面に黒い斑点が発生する「黒斑粒」について、その原因と浜通りにおける発生状況を調査した。

- (1) 子実表面に発生した黒斑は、斑点状とすじ状の2種類が存在した。
- (2) 浜通りのいずれの現地圃場(いわき市、浪江町、原町市)でも「黒斑粒」の発生が認められた。
- (3) 「黒斑粒」の発生率は、虫害とみられる食痕がある莢で高く、黒斑も食痕の内側に接した子実表面に発生していた。そのため、食痕は「黒斑粒」発生の大きな要因であると考えられた。
- (4) 「黒斑粒」が発生した莢の表面にみられた食痕は文献等から「フタスジヒメハムシ」によるものと予想された。
- (5) イソキサチオン粉剤、エトフェンプロックス乳剤、エトフェンプロックス粉剤、シペルメトリン乳剤は、大豆の「フタスジヒメハムシ」に適用がある。

4 その他の資料等

なし